

## I. 検討テーマ

部会長	コスモ石油㈱	参画企業	先進化検討会 15 社のうち 12 社が参画
-----	--------	------	------------------------

企業間連携の可能性を探るため、製品・原料・用役の融通、ユーティリーの共同利用、教育訓練・人材育成などを目標として、参画企業へのアンケートや、実現に向けた意見交換を実施。平成 30 年度の進捗及び成果は下記のとおり。

### 1. 製品・原料・用役等の融通について

#### 【H30 実施内容】

製品・原料・用役等	H30 の進捗・成果	今後の対応
トルエン、キシレン	関係企業にて調整中	関係企業間で引き続き調整
水素	関係企業にて調整中	関係企業間で引き続き調整
炭酸ガス	関係企業にて調整中	関係企業間で引き続き調整
スチーム	予備ボイラ老朽化により他社との連携による効率化を検討中	引き続き検討
原油精製	石油精製二社による原油精製の一部委託を実施済	引き続き連携持続
SS-C4、S-C9	過去にも検討したが折り合いが付かなかった	本年度をもって検討終了
苛性ソーダ	社内事業で活用の可能性もあり取り下げ	本年度をもって検討終了

#### 【今後の課題】

・大型ユーティリーの共同設備投資や共同利用等の検討は行ったが、これらの投資に見合うニーズまで出てこなかった。今後、新規プロジェクトが生じてきた際は、協議検討を進める必要がある。

### 2. 教育訓練について

#### (1) 教育施設の情報共有化

コンビナートでは、製品、原料、用役等様々な連携が進んでおり、1 社の事故が 1 社に留まらず、コンビナート全体の生産にも影響を及ぼす可能性もある。かつてに比べ、自動化が進みトラブルが減少しており、また多くのベテランが定年退職を迎えたことから、従業員の経験が不足してきており、教育訓練の重要性がこれまで以上に増している。そこで、四日市コンビナートでは、従業員の早期育成を促進するため、各社の先進的な取り組みを共有化し、コンビナート全体の先進化を図る。

#### 【H30 実施内容】

- ・防災協（四日市コンビナート地域防災協議会）が実施する教育訓練の情報共有
- ・防災協と連携し、各社が保有する教育訓練施設の一覧を共有
- ・中部電力による危険疑似体験セミナーなどの情報提供

#### 【今後の課題】

・上記情報について、新たな教育施設を設置する際への具体的な活用、教育施設一覧の継続的な更新や情報共有の方法を整理する必要がある。

#### (2) 化学・プロセス産業人材育成事業の継続実施

四日市市の委託事業である高度部材イノベーションセンター（AMIC）による人材育成事業の情報提供、意見交換を実施し、若手人材育成のため来年度以降も継続を図る。

Aコース（11 日間、1 万円／人）、Bコース（7 日間、1 万円／人）の選択受講。

Aコース「化学工学理論や化学工業に関わる法規制などの座学講座」

Bコース「三菱ケミカル㈱及び J S R ㈱の教育訓練施設を利用した運転体験学習」

#### 【H30 実施内容】

・AMIC が実施する講座内容について、情報共有及び意見交換を実施した。

#### 【今後の課題】

・引き続き、企業が求める講座内容や効果的な育成方法について、検討しながら事業を継続していく。

#### (3) プラント運転・保安 IoT 人材育成講座の開設

近年、IT・センサー技術・AI 等の技術進歩と低価格化が進む中、これらの技術をプラント運転の分野にも導入することで、IoT、ビッグデータ等を活用した現場での状況判断力の向上や効率的なプラントの運転・保安が求められている。今般、当分科会として、経済産業省が日本能率協会に委託して実施する IoT 人材育成講座を招致し、市内での実証講座開催が実現した。

#### 【H30 実施内容】

- ・日 程：平成 31 年 2 月 19 日(火)、20 日(水)の 2 日間 両日 10:00～17:00
- ・受講料：無料（但し、今回の実証講座のみ）
- ・場 所：四日市市総合会館 第 4 会議室
- ・参加者：21 社 51 名（先進化検討会企業から 13 社 40 名、その他企業から 8 社 11 名が参加）
- ・主 催：一般社団法人日本能率協会（講師：合同会社コンサルンス）

#### 【今後の予定】

・H30 に実施した実証講座の参加者アンケート等をもとに、H31 に本講座を市内で開催するため、関係機関と調整中。



(H30 開催の実証講座)

## II. プラットフォームの形成

- ・本年度の企業間連携部会によって、コンビナート企業が連携・融通等に関して意見交換できるプラットフォームを形成することができた。
- ・本部会は、本年度で一旦終了となるが、関係企業で新たな課題や連携の可能性等が生じた際は、プラットフォームを継続し、引き続きコンビナートの先進化に向けて意見交換・協議・検討を実施していく。